

平成25年第10回県教育委員会会議

報告事項(3)

生涯学習振興課

1 報告事項

「児童生徒の生活リズム実態調査」の実施

2 事項の説明

(1) 目的

児童生徒や保護者に生活リズムに関する調査を行い、家庭教育の改善充実に向けた取り組みの基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 対象

県内の全公立小学校5年生と中学校2年生、その保護者約66,000人

(3) 内容

児童生徒の生活実態や理想とする生活リズム、学習への意欲・関心等を内容とした「生活実態調査」を実施する。

さらに、夜型社会といわれる社会環境や児童生徒の学力への影響、健全育成に向けた課題を把握し、今後の対策を検討する。

※子どもの生活リズム改善事業（生活実態調査委託）

予算額4,055千円 県単独 平成25年度(単年度)

(4) 日程

①検討委員委嘱、質問紙作成(6月)

検討委員

笹澤 吉明 准教授・医学博士(琉球大学教育学部)

西本 裕輝 准教授 (琉球大学大学教育センター)

玉城きみ子 准教授 (琉球大学教育学部)

②生活実態調査実施期間(7月1日～20日)

③調査分析、考察(7月～9月)

④調査結果報告(10月)

(5) 今後の取り組みについて

生活実態調査の結果を踏まえ、本県における課題等を明確にし、家庭教育に関する支援活動を行う。

①学習講座・講演会・家庭教育支援アドバイザー、リーダーの養成及び育成・家庭教育支援プログラムの作成・啓発活動(テレビ・ラジオ・ポスター・のぼり等)

②義務教育課と連携し、教育事務所主催の小中学校管理職研修等で課題を共有するほか、各市町村教育委員会を通し、単位PTA研修等により各学校での実践化を図る。